



平成30年度「とことん勉強会」のお知らせ

主催：公益社団法人 地盤工学会北陸支部
 支部長 大塚 悟

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より当学会の行事にご協力賜り、ありがとうございます。今回、新潟地区において、地盤工学セミナーの一環として「とことん勉強会」と題して、『室内土質試験』をテーマに勉強会を企画いたしました。

セミナーは『室内土質試験』における下記のテーマについて、とことん学ぼうという趣旨で開催を計画致しました。多数の皆様のご参加をお待ちしております。また、講演会終了後、皆様の親睦もかねて懇親会を予定しております。こちらも、多数のご参加をお待ちしております。

記

- 日 時：平成30年11月5日（月） 14時00分～17時30分（懇親会17:40～）
- 場 所：(株)興和ビル10階 会議室 新潟市中央区新光町6番地1 (<http://www.kowa-net.co.jp>)
 （公共交通、または周辺のコインパーキング等の駐車場のご利用をお願いします）

● 内 容：

『三軸試験から考える砂の年代効果と再液状化の評価』：若い埋立地盤は液状化しやすく、年代を経れば液状化しにくくなると言われている。この現象を砂の年代効果と称するが、なぜそのようなになるかは解明されていない。また、液状化した砂は、過剰間隙水圧の消散により密になるため、液状化しにくいと考えられている。しかしながら再液状化現象は、多くの地震被害で報告されている。そこで、この年代効果と再液状化現象の可能性について、三軸試験装置を利用して調べた、砂の力学特性の変化から議論する。

『土の保水性と透水性』：不飽和地盤の浸透特性（保水性、透水性）や強度特性は、降雨時の斜面安定問題や河川堤防の浸透・安定性評価などに重要な数値情報として利用される。しかし、室内試験ではこれらの情報を得るのに非常に長時間を要することから、その値を室内試験によって求め、解析等に利用している事例は極めて少ないのが現状である。本セミナーでは、従来の方法では1～2ヵ月かかっていた試験が2日程度に短縮できる新試験法の紹介とそれによる試験結果を基に「土の保水性と透水性」について議論する。

- 参加費等：1,000円（資料代） CPD単位 3.0単位
- 懇親会費：3,000円

プ ロ グ ラ ム

- ・開会挨拶 地盤工学会北陸支部 副支部長 金子敏哉 14:00～14:10
- ・講 演
 - 1. 題目：三軸試験から考える砂の年代効果と再液状化の評価 14:10～15:40
 講師：豊田浩史 准教授 長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 (90分)
 休 憩 10分
 - 2. 題目：土の保水性と透水性 15:50～17:20
 講師：畠山正則 応用地質(株) コアラボ試験センター (90分)
- ・閉会挨拶 地盤工学会北陸支部 副幹事長 斉藤浩之 17:20～17:30
- ・懇親会 (株)興和ビル1階 食彩亭 17:40～

申し込み：ファックスまたはE-mailで、氏名、所属、電話番号、E-mailアドレス、会員/非会員の別、懇親会参加の有無をご記入のうえ、下記へお申込みください。

公益社団法人 地盤工学会 北陸支部（事務局 佐藤）

〒950-0965 新潟市中央区新光町10番地3 技術士センタービルII 7F

TEL/FAX：025-281-2125 E-mail：jgskoshi@piano.ocn.ne.jp

※懇親会申込締切日：平成30年10月30日(火) ※勉強会の申し込みは開催日の当日まで受け付けます。

地盤工学セミナー講演会 参加申込欄（切り取らずお使いください）

宛先：FAX 025-281-2125

お 名 前： 会員 非会員

所 属：

連絡先住所：

連絡先 TEL：

Email：

懇親会への参加： 参加する 参加しない